

学生寮におけるラーニングアウトカムズ 2017 年度自己評価アンケート概要

1. 目的

学生寮におけるラーニングアウトカムズの効果測定を行うために自己評価アンケートを実施した。

2. 調査方法

Google フォームによりアンケートを実施した。学生寮における教育目標の各項目について、5段階の自己評価を求めた。

【2017 年度自己評価アンケート】

①アンケート実施期間

入寮時アンケート・・・2017 年 4 月

卒寮時アンケート・・・2018 年 1 月

②調査対象

入寮時アンケート・・・全寮生 1,276 名 [男子 715 名、女子 561 名]

卒寮時アンケート・・・全寮生 1,228 名 [男子 702 名、女子 526 名]

※国際教養学部生の留学による入れ替え、途中入退寮のために入寮時と卒寮時の人数に相違がでている。

③回収状況

入寮時アンケート・・・912 名 (71.5%) [男子 489 名 (68.4%)、女子 423 名 (75.4%)]

卒寮時アンケート・・・441 名 (35.9%) [男子 274 名 (39.0%)、女子 167 名 (31.7%)]

④アンケート結果の概要

学生寮における教育目標の各項目について、自己評価 5 段階別の割合を算出した。全項目ともにポジティブな自己評価の割合が高かった。

アセスメント項目「国際性：多様性を受容する力と他者との協働性」に通ずる以下の質問についても、自己評価における「いつもまたは、ほとんどの場合に当てはまる(100%に近い)」の割合が増加していることから、学生寮における国際性への取組みは効果があると考える事ができる。

- (1) 多様性を受け入れる力 [多様な文化的背景を持つ他者との関わりの中で、お互いの価値観の差異を認め、受け入れることができる] **0.8%増加**
- (2) コミュニケーション力 [自分の主義主張を、わかりやすく他者に伝えることができる] **10.92%増加**
- (3) コミュニケーション力 [他者の意見を尊重し、理解することができる] **12.7%増加**
- (4) 協力し実践する力 [共通の目標に対して、責任を持って取り組むことができる] **6.82%増加**
- (5) 協力し実践する力 [共通の目標に対して、他者と協力することができる] **4.33%増加**

【2018年度自己評価アンケート】

①2018年度の実施計画

2018年度はじめと、年度末に自己評価アンケートを実施

②実施・回収状況

2018年7月にアンケートを実施済。1144名中626名の回答（55%の回答率）

③2017年度のアンケートからの内容や方法の変更点

より実体を把握できるように、質問の内容を変更した。

※1つのラーニングアウトカムズにつき、2つの肯定的質問、1つの否定的質問を作成した。

※昨年度の質問は、ラーニングアウトカムズの内容を直接聞く形式であった。

④今後の課題

年度末のアンケートでは、英文化を目指している。

アンケート集計等を個人の成長につなげることのできる取組みを検討中。